

令和3年度 適性検査Ⅰ 正答・正答例及び評価基準

※漢字の誤字は減点対象としない。

問題番号		正答または正答例		配点			評価上の留意事項					
問	小問			小問	小計	計						
1	(1)	あ	(例)最後の「だ」を言うのと同時にふり向く	4	8	21	正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 (1)あ 「親が言い終わると同時にふり向く」と同等の内容が書かれているものも正答とする。 (2)それぞれの遊びについて誰が次の親になるかを具体的に説明しているものを正答とする。 (3)「親と手をつないでいる子がいる場合」と同等の内容が書かれているものも正答とする。 (4)「オニがオニを」など正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。					
		い	(例)スタートラインにもどる	4								
	(2)	(例)だるまさんがころんだは親がもう一度親になるが、レッドライト・グリーンライトはタッチした子が親になるというちがい。	5	5								
	(3)	(例)親につかまっている子がいる状態としない状態	4	4								
	(4)	(例)親が親を	4	4								
2	(1)	①	(例)量	3	6	23	(1)①「容量」「大きさ」と同等の内容が書かれているものも正答とする。 (1)②完答とする。 (2)①き 「しるもれしないということ」も正答とする。 ①く 「たくさん入ること」も正答とする。 ①きく 順不同 ①完答とする。 (3)①観点には「性質」と「適した加工」が書かれ、この2つの観点の特徴のみが書かれているものを正答とする。 「性質」については、ヒノキは「ねばりがある」、または「割れにくい」、サワラは「やわらかい」、または「割れやすい」と同等の内容が書かれているものを正答とする。 「適した加工」については、サワラは「切る」と同等の内容が書かれているものを正答とする。 部分点として「性質」と2つの木の特徴について書かれているものは4点、「適した加工」と2つの木の特徴について書かれているものは4点とする。 (3)②「ひのき」「さわら」も正答とする。 ②完答とする。					
		い	エ	3								
	う	オ										
	(2)	②	え	イ	3							
		お	ア									
		か	ウ									
(3)	①	き	しるもれしない	3	6							
	く	たくさん入る										
		け	保温									
②	デザイン		3									
(3)	①	(例)		8	11							
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">(木の名前)</th> <th style="width: 40%;">(サワラ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(観点)</td> <td>(ヒノキ)</td> <td>(サワラ)</td> </tr> <tr> <td>性質</td> <td>ねばりがあり、 割れにくい</td> <td>やわらかく、 割れやすい</td> </tr> <tr> <td>適した加工</td> <td>曲げる</td> <td>わる、切る、 けずる</td> </tr> </tbody> </table>				(木の名前)	(サワラ)	(観点)	(ヒノキ)	(サワラ)	性質	ねばりがあり、 割れにくい
	(木の名前)	(サワラ)										
(観点)	(ヒノキ)	(サワラ)										
性質	ねばりがあり、 割れにくい	やわらかく、 割れやすい										
適した加工	曲げる	わる、切る、 けずる										
②	側板	ヒノキ	3									
ふた板・底板	サワラ											
3	(1)	あ	休けいし設	2	6	30	(1)あ 「休けい所」も正答とする。 い 「高速道」も正答とする。 う 「一ぱん道」も正答とする。 (2)「災害時の拠点」「非常時のひなん場所」と同等の内容が書かれているものを正答とする。 (3)え 「その土地」「地場」などと同等の内容が書かれているものも正答とする。 く 「高い」「多い」も正答とする。 (4)項目ごとにそれぞれ完答とする。					
		い	高速道路	2								
		う	一ぱん道路	2								
	(2)	(例)災害時に地いきの防災きょ点となる働き	3	3								
	(3)	え	(例)地元	2	10							
		お	季節限定	2								
		か	46	2								
		き	農産物直売所	2								
		く	大きい	2								
	(4)	住民へ安心なくらしを届ける		ア	カ			ク	6			
		産業振興に取り組む		ウ	オ			ケ				
		地域外からの活力を呼ぶ		イ	エ			キ				
	(5)	け		キ	1			5				
こ			ケ	1								
さ			コ	1								
し			ク	1								
す			ウ	1								
4	(1)	(例)「自分だけのもの見方」で作品をとらえ、「自分なりの答え」を手に入れること。(38字)	5	5	26	(1)30字以上40字以内で書かれているものを評価の対象とし、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 (2)60字以上70字以内で書かれているものを評価の対象とし、正答例の前半部分と後半部分と同等の内容がそれぞれ書かれているものを正答とする。 (3)160字以上200字以内で書かれているものを評価の対象とし、次の条件を満たすものを正答とする。 ・「こうした思考プロセス」について、これまでの体験と結び付けて説明している。 ただし、部分点として①について書かれているものは5点、②について書かれているものは5点、③について書かれているものは5点とする。また、該当箇所に、①～③の番号が書かれていなければ1つにつき1点減点とする。						
	(2)	(例)他人の評価や意見で行動したことを自分で選たく・決断したように感じ、自分だけのもの見方・考え方を失っていることに気付いてすらいなこと。(68字)	6	6								
	(3)	(例)①わたしは、なん民問題について学び、自分にもできることとして、支えん物資を送ることを考えた。どのように物資を集めればよいかを考えるうちに、物資を送るだけでは何も解決しないというし点で、②なん民が生まれない世界にしなければならぬと考えた。そこから、③なん民が生まれない世界にするためにできることは何かという問いを立て、なん民が生まれる理由を調べた。こうした思考プロセスを、筆者は「アート思考」と言っている。(200字)	15	15								